秋田県五城目町

みんなの町議会

目次

- 定例会の経過・陳情 …… 2～4
- 速報! 第６回臨時会 …… 5
- 常任委員会の焦点 …… 6～7
- 一般質問に７名登壇 …… 8～15
- 第４回・第５回臨時会 …… 16
- あれ なんとなったべが！ …… 17
- よぐきてけだな・がんばってます …… 18

No.149
2022年１月１日

「森山から望む御来光」
平穏な１年になりますように

2022 あけまして おめでとうございます

12月 定例会

議会の経過

12月定例会はこれまで同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を施し、12月6日から10日まで5日間の日程で開かれた。

コロナ対策を施した議場

初日　渡邉町長は行政報告で「子育て世帯への臨時特別給付金、職員採用試験、町内事業所閉鎖による離職者支援、コロナワクチンの接種、クマ出没捕獲情報、三平の家の閉館、今期の除雪体制、小学校旧校舎の利活用、ＩＣＴ教育、地域図書室わーくるの利用状況」などについて述べた。

2日目・3日目　一般質問に7名が登壇。
- 産直及び朝市
- 農地中間管理機構の活用促進
- 小中学校の学びの方針
- 米価下落による農業者支援
- 観光振興
- 農業法人の果たす役割
- 森林環境譲与税

などについて質問をした。

3日目　令和3年度一般・特別会計補正予算案など議案7件が上程され、各常任委員会で審議。

最終日　各常任委員長報告のあと、全議案を可決した。また陳情6件を全会一致で採択、委員会提出議案6件を可決し閉会した。

12月定例会で可決した主な内容

- 国民健康保険税条例の一部改正
- 特別会計補正予算（3事業）
  - 国民健康保険
  - 後期高齢者医療
  - 介護保険
- 事業会計補正予算（2事業）
  - 水道事業
  - 下水道事業
- 一般会計補正予算
  2億6，625万円を追加し、総額63億2，807万円とする。

一般会計補正予算の主なもの

- 子育て世帯臨時特別給付金
  18歳以下の対象842人に5万円を給付　4，210万円
  ※P5で詳細説明
- 街路樹整備　461万円
  馬城橋～雀館幹線交差点間のケヤキ61本中23本を伐採、38本を剪定する。

街路樹に対する方向性を示せ

- 町民センター
  エレベーターとトイレ改修　377万円
- 除雪事業　4，150万円
- 小学校管理費
  燃料費　112万円
  光熱水費　403万円

かかり増しする空調費用に対する指摘が相次いだ小学校

- 財政調整基金　1億172万円
- 公共施設等総合管理基金　4，999万円
- 他に、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止や延期となり事業費の減額補正が相次ぐ

（荒川　滋）

年頭のあいさつ

みんなで日向(ひなた)の道を

議長　石川交三

あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。日頃より、議会に対しまして御理解と御協力をいただいておりますことに深謝申し上げます。

今年の干支は「壬寅（みずのえ・とら）」。「陽気を孕み、春の始動を助く」、厳しい冬を乗り越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるという説があります。

寅年生まれの人は「虎」から連想されるように「勇敢であり、何事にも恐れずに立ち向かう」強さを持っているといわれ、虎穴に入らずんば虎子を得ず、張子の虎などのことわざの多いのも特徴です。

寅年生まれで有名な人は、徳川家康、吉田松陰、上杉謙信などです。

コロナ禍で雇用情勢が悪化し、生活困窮者が急増しています。厚生労働省の集計では上半期（四～九月）の新規相談が三十万件を超えています。生活困窮者自立支援法に基づいた「住居確保給付金」は昨年三百億円を越えました。一昨年の実に三十四倍にも跳ね上がっています。

将来に明るい展望を見出し得ない厳しい現状もありますが、こんな時だからこそ、住民の心に寄り添った施策の展開が求められていると本当に感じます。だれもが日向（ひなた）の道を歩いて行けるようにと願わずにはいられません。

町民各位にとりまして、幸せ多い年となりますよう祈念し、新春を寿ぎ、年頭のあいさつといたします。

陳情と意見書

12月定例会で6件の陳情を採択し、6件の意見書を各関係機関に提出しました。

採択

◆安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長　三浦　耐子

地域医療の要、湖東厚生病院存続のためにも

採択

◆安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情

陳情者
秋田県春闘共闘懇談会
代表委員　三浦　耐子
秋田県労働組合総連合
議長　越後屋健一

※同一趣旨の陳情により意見書を1件にまとめた。

意見書提出先
○内閣総理大臣　岸田　文雄
○厚生労働大臣　後藤　茂之

採択

◆精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情

陳情者
秋田県医療労働組合連合会
執行委員長　三浦　耐子

意見書提出先
○内閣総理大臣　岸田　文雄
○厚生労働大臣　後藤　茂之
○財務大臣　鈴木　俊一
○総務大臣　金子　恭之

採択

◆人工透析を要する要介護者における介護保険制度の改正に関する陳情書

陳情者
秋田県社会福祉法人経営者協議会
会長　瀬田川榮一

意見書提出先
○厚生労働大臣　後藤　茂之

採択

◆介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情

陳情者
秋田県社会保障推進協議会
会長　佐藤　幸美

意見書提出先
○衆議院議長　細田　博之
○参議院議長　山東　昭子
○内閣総理大臣　岸田　文雄
○財務大臣　鈴木　俊一
○厚生労働大臣　後藤　茂之

採択

◆ウイグルの人権問題に対し国に調査を求める意見書採択のお願い

陳情者
日本ウイグル協会
会長　于田ケリム

意見書
中華人民共和国による人権侵害問題に対する調査及び抗議を求める意見書について

意見書提出先
○衆議院議長　細田　博之
○参議院議長　山東　昭子
○内閣総理大臣　岸田　文雄
○外務大臣　林　芳正

可決

◆秋田県町村議会議長会より依頼の意見書提出（案）を可決した。

意見書
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

意見書提出先
○衆議院議長　細田　博之
○参議院議長　山東　昭子
○内閣総理大臣　岸田　文雄
○財務大臣　鈴木　俊一
○総務大臣　金子　恭之
○経済産業大臣　萩生田光一
○内閣官房長官　松野　博一
○経済再生担当大臣　山際大志郎

（荒川　滋）

第６回臨時会　令和３年12月27日

速報！

価格高騰の灯油 健康を守り経済的負担軽減のため 全世帯への5,000円支給を議決

提出議案

①専決処分※の承認について

現金一括10万円

○子育て世帯等臨時特別給付金事業　4，221万円

12月定例会で補正した5万円と合わせ計10万円を一括で12月29日に給付する。保護者が公務員の中学生以下と高校生は申請が必要なため、1月下旬の給付となる。

・支給対象者　18歳以下842人の子の保護者【国の事業】
・申請期間　令和4年3月31日まで

この事業に関しては、12月定例会で、5万円の年内支給を可決したが、委員会審議で、残りの5万円について一括の現金給付とすべきという指摘が出されていた。国の方針を踏まえ、本町ではクーポンではなく現金一括で支給する。また、町として公平に子育てを応援する目的で所得制限を設けないこととした。

※専決処分とは
予算や条例などを、一定の場合に限り首長が議会の議決を経ずに自らの権限で決めること

②一般会計補正予算

補正額　2億1，937万6千円
（今年度の一般会計総額65億8，966万2千円）

新型コロナウイルス感染症緊急支援対策　4事業
（支払方法は、いずれも指定口座へ振り込み）

○生活支援臨時特別給付金事業　1億6，310万円

非課税世帯などに対し臨時特別の給付をする。【国の事業】

・支給対象者①世帯全員の住民税が非課税世帯②コロナの影響で令和3年1月以降の家計が急変し、世帯全員が非課税水準額以下の世帯主　1，615世帯
・支給額　1世帯につき10万円
・申請期間　①通知発送後3ヶ月間②令和4年9月30日まで

○臨時福祉灯油等助成金支給事業　819万円

灯油価格高騰に伴う低所得世帯の経済的負担軽減を図るため臨時の福祉灯油など助成金を支給する。

・支給対象者　世帯全員の住民税が**非課税**である世帯（社会福祉施設など入所世帯を除く）【県・町の事業】1，500世帯
・支給額　1世帯につき5千円
・申請期間　令和4年2月28日まで

○あったか生活応援事業　2，122万円

コロナ感染予防対策として、町民の健康を守りつつ、経済的な負担の軽減を図るため、室内換気を促し冬期間の採暖に必要な灯油購入などの一部を助成する。

・支給対象者　社会福祉施設など入所世帯を除く**全世帯**（令和4年1月1日現在、町の住民基本台帳記録されている世帯）3，900世帯【町独自事業】
・支給額　1世帯につき5千円
・申請期間　令和4年3月31日まで

高騰が続く灯油

稲作支援10a当たり3，000円

○稲作経営安定支援事業　2，637万円

コロナ禍などによるコメの需要減少により米価が下落した影響を受けた農家に対し、次期作に向けた種子などの購入にかかる経費の一部を助成する。【町独自事業】

・支給対象者　作付面積30a以上でJAあきた湖東などへの出荷実績がある販売農家。470件（870ha）
・支給額　作付面積10a当たり3千円
・申請期間　令和4年2月10日まで

（荒川　滋）

こんなことを審議しました

総務産業常任委員会

委員会の焦点

馬城橋から雀館幹線交差点までの街路樹を整備

町は馬城橋から雀館幹線交差点までのケヤキ61本中23本を伐採、38本を剪定すると決定した。かねてより「日中でも暗く、巨木に成長した幹によって歩行者の姿が見えにくい、日が当たらない道路に苔が張り付き、滑って転倒した」などの苦情があり、通学路にもなっていることから決めた。伐採するケヤキは幹周りが60㎝から280㎝の23本である。

委員からは「手入れをしてこないことが原因で幹も高さも大きくなりすぎた。伐採したケヤキの処分方法は」と質疑があり「小学校前のケヤキ伐採と同様に無料払い下げ・残りはチップにして処分する」と回答があった。

苦情が多いケヤキの剪定と伐採をする

道路維持費除雪事業に4，150万円を補正し7，962万円に

除雪事業は昨年同様9社に委託し、昨年より1台増の40台の除雪機械で行う予定。昨年まで狭隘（きょうあい）で曲りが大きく、通常の除雪機械が入れなかった各路線で、今年は小型ローダーで通常除雪をする。排雪にかかるダンプなどの機械借り上げ料としての補正は150万円。

委員からは「除雪出動のタイミング及び指示は」と質疑があり、「積雪5㎝から状況を監視している。状況により10㎝に満たなくても出動の指示を出すこともある。除雪業者の判断での出動もある。その場合、降雪量が分かる写真を残すようにしている」と回答があった。

狭い路線を作業する小型ローダー

（畑澤　洋子）

こんなことを審議しました

教育民生常任委員会

委員会の焦点

コロナワクチンの3回目接種、受付混雑回避へ

コロナワクチンのブースター接種（3回目）が2022年2月より行われる。これまで2回の接種では、65才以上高齢者の受付時に電話回線がつながらないなど大変混雑した。

委員からは「3回目のワクチン接種の予約方法について混雑解消はどうするのか」と質疑があった。

当局からは、「昨年まではwebからの申し込み50％、電話での受付50％としていたが、3回目からは、web30％、電話70％と調整する。電話回線がパンクするなどの状況もあったため、専用回線も1つ増やし、役場窓口でも対応を行う。

地区割や指定日を記した通知を郵送し、バス利用の有無や接種時間帯の希望など、webや電話での確認を行う予定である」と回答があった。

不安のないワクチン接種へ

消防本部の垣根を越えた震災対応訓練

消防署では、五城目小旧校舎の解体にあたり、9月27日、28日に湖東地区消防本部、男鹿地区消防本部、五城目警察署と合同で震災対応訓練を行った。

地震などにより倒壊した建物に進入する場所がなく、コンクリートを破壊しないと進入・救出ができない場合に、ドリルやエンジンカッターを用いて、壁などの鉄筋コンクリートに穴をあけるブリーチング訓練を中心に行われた。

委員からは「旧校舎の解体時だからこそできた。震災対応訓練は町民からも評価され、テレビなどでの紹介もあった。これからも町民の安心安全のため様々な訓練に励んでもらいたい」と指摘があった。

有事の際の協力体制確認を

五城目小学校のグランドピアノ処分の経緯は

委員から「五城目小学校のグランドピアノ処分について町民から問い合わせがあり、その経緯は」と質疑があった。

当局からは「旧校舎には、昭和60年2月昭和28年3月、昭和に寄贈を受けたものと平成6年7月に町が購入したものの3台のグランドピアノがあり、2台は新校舎の体育館と音楽室に移設した。

今回廃棄したピアノは、昭和28年に寄贈をされた『東洋ピアノ製アポロ』で、外観に傷があり、調律もされていない状況だった。

各課室やもりやまこども園、大川分園、ショッピングセンターにも再利用を打診したが、利用希望がなかった。

4月10日、11日に旧校舎解体に伴う不用物品を町民に譲る会を開催したが、当該グランドピアノは運搬費が個人負担であり、自宅への搬入が難しく、調律も必要なことなどから出品は差し控えた。

また、4社の下取り会社にも見積査定を行ったが、どの会社からも『50年以上前の東洋ピアノは査定出来ない』と返答があった。

結果、やむを得ず一般備品と同様の廃棄処分を行った」と報告があった。

町備品の有効な保全管理を

（松浦　真）

一般質問

7議員が登壇　我が町政を問う

一般質問とは？

- 年４回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- 答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- 質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

斎藤　　晋　議員
- ○朝市及び産直について
- ●コロナ対策について
- ○除雪について
- ●鉄骨及び大型建造物空き家の対策について

工藤　政彦　議員
- ○農地中間管理機構の活用促進について
- ○公共施設への案内標識について
- ○防災無線のメロディーについて

松浦　　真　議員
- ○五城目の小中学校の学びの方針は
- ○朝市ふれあい館の活用に向けて
- ●子育て支援の窓口を
- ●テレワーク推進、ＤＸ推進の進捗は
- ○地域住民が主体となった自家用有償旅客運送の構築は

椎名　志保　議員
- ○米価の下落による農業者支援と農地の今後について
- ○雀館公園周辺の総合的な整備を
- ○子育て世帯に必要な支援を
- ●街路樹を今後どうしていくか

荒川　　滋　議員
- ○農家支援と農業振興について
- ○観光振興について
- ○町の顔である朝市の存続に向けて
- ○通学路の安全確保と除雪について
- ○新型コロナワクチン接種について

佐々木　仁茂　議員
- ○概算金下落に伴う米生産者の支援策は
- ●農業法人の果たす役割について
- ○荒廃農地をどう防ぐ
- ○行政の人命を守る責任の重さを問う
- ●横断歩道の危険箇所について
- ●本町の盛り土よる埋め立て地について
- ○老朽化した橋と危険な護岸農道について

畑澤　洋子　議員
- ○森林環境譲与税の使途は
- ○２回目接種後にコロナ陽性となるブレークスルー感染に注意喚起を
- ○デジタル化の流れに高齢者を取り残さない
- ○ＨＰＶワクチン積極的勧奨再開に向けて

＊誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧下さい。

五城目町議会映像配信中　www.gojome-town.stream.jfit.co.jp

意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。　議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

①役場４階へ上がります。（エレベーターをご利用ください）

②議会事務局前で受け付け。（受付表に必要事項を記入　検温と手指の消毒剤あります）

③階段で傍聴席へ。（定員40名）（現在は、コロナ禍において定員15名としています。）

④町の方向性を直接聞くことができます。（開会中はお静かに願います）

※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴におこし下さる皆様の健康を守る観点から、当分の間、傍聴を自粛いただく場合がございます。　お問い合わせ先　議会事務局　018−852−5411

（工藤　政彦）

朝市から町の味「漬物」などが無くなるのでは

あなたにかわって聞きました　一般質問

町長　地域の味を守るため努力する

斎藤　　晋

食品衛生法の改正で、朝市・産直はどうなる

斎藤　法律の改正により朝市・産直の影響は。盛り上げるための町の施策は。どのような指導・補助をするのか。

町長　令和３年６月１日に改正食品衛生法が施行され、全ての食品事業者は営業許可もしくは営業届けの対象となった。営業届けの必要な方には、営業届けの作成支援を指示した。しかし、漬物・梅漬けを製造する方は、許可が必要となり、製造施設の整備が必要で、多額の費用がかかり、出店を辞めざるを得ないという声がある。地域の味を守るため、関係市町村と連携し課題解決に努力する。

残したい朝市の味

共同で使える「加工所」を町が整備するべき

斎藤　営業許可を申請するには加工施設をつくるための設備費が必要となる。個人の負担を軽減するため町の施設に手を入れ、漬物・惣菜・菓子などの製造グループに貸し出し出来る加工所をつくるべき。

町長　町の施設を改修し不特定多数の人が出入りする施設では、衛生管理が課題であり、水回りやトイレの改修、保存施設の設置も必要となる。町の施設を改修し、加工施設として利用することはハードルが高い。

除雪だけでなく排雪も強化すべき

斎藤　除雪だけでなく、道幅の狭い道路などの排雪も強化すべきである。

町長　除雪委託予定業者との最終打ち合わせ会議において、通行に支障となる箇所や、見通しの悪い箇所の排雪を強化するよう指示した。こまめな排雪を行う計画である。また、パトロールの強化もする。

除排雪の徹底を

その他に
- ○食品衛生法の講習会の費用と講習した人数は
- ○食品衛生法の改正により影響を受ける業種と人数は
- ○食品衛生法の改正により対象となる人への支援策は
- ○朝市・産直の町の担当者が現場との関わりが希薄だとの声があるが、改善策は
- ○県のコロナ対策レベルの変更を町民にどう発信するか
- ○コロナ禍で、首都圏往来者の自宅待機の基準は
- ○除雪業者の確保・オペレーターの教育は
- ○除雪業者の個人登録はあったか
- ○危険な大型空き家の対策は

などを質問しました。

あなたにかわって聞きました

農業従事者が納得できる賃借料設定の指導を

一般質問

町長　情報提供のサービスを実施する

工藤　政彦

農地中間管理機構の活用促進を

工藤　農業従事者は、この事業の内容を十分に把握しているのか。

町長　農地を貸したい農家から借り受けたい農家へ貸付する中間的受け皿を担っている組織であり、町広報や農政のしおりへの掲載、農業班長会議など各種会議で説明を行なっている。

工藤　利用している農家の数は。

町長　今年度11月現在の利用農家と法人などは、出し手で189経営体、受け手で62経営体で、引き続き制度の周知に努める。

工藤　貸し手農家、受け手農家へ、この機構を利用することでのメリットなどを充分に説明し、両者が納得できる賃料設定ができるよう指導すべき。

町長　また、農業委員会は、地域における農地の利用調整活動を行うとともに、市町村・農地中間管理機構と連携して機構事業のメリットを主体的にPRし、農地中間管理機構事業を協働で推進すべき。

　地区ごとの賃借料一覧表を提供し賃借料のスムーズな設定を促しており、今後も両者が納得できるよう情報提供などのサービスを実施する。町では、農地の利用調整活動の一環として、全町を対象とした貸し手と受け手とのマッチングの実施を12月10日から予定している。これにより、懸案の一つである荒廃農地の増加防止を図っていくことになる。

小学校新校舎・もりやまこども園入口への案内標識を

工藤　小学校新校舎での授業が始まって間もなく一年を迎えようとしているが、新校舎への案内標識が無い。国道285号からの案内標識は是非とも必要、早急の対応を。

町長　現在のところ県道秋田八郎潟線と雀館幹線交差点の案内標識の設置替えを道路管理者である秋田地域振興局に要望している。国道285号への設置箇所や内容を検討し、県に要望する。

工藤　国道285号、千葉内科付近十字路の五小旧校舎への案内標識については、一般質問通告後、直ちに「もりやまこども園入口」に案内内容が変更されていた。（11月30日設置替え）早急の対応に感謝する。

すぐに対応いただいた
もりやまこども園入口標識

工藤　他にもこのような古い標識があってはならない、調査確認を。

町長　町で設置している公共施設や集落案内の標識についても随時調査を行い対応する。

防災無線のメロディーに季節感を

工藤　時報のお知らせ時に、町民歌が流れるのも良いが、季節感のあるメロディーを流してはどうか。秋であれば「赤とんぼ」・「もみじ」など町民が心和むメロディーを。また小・中学校児童生徒の作文優秀賞などの朗読、または町長の町民への呼びかけやメッセージなど、利用方法はいろいろあると思うが。

町長　時報のお知らせ時に町民歌を流しているのは、以前の町民センターの放送でも馴染みのあるということが理由。季節感のある心和むメロディーについては、今後検討していく。作文優秀賞などの朗読については、他の伝達方法が良いのではないかと考える。また、町長の町民への呼びかけやメッセージは、緊急性が高く町民生活に大きな影響がある場合などに有効であると考える。

あなたにかわって聞きました

朝市ふれあい館の活用実績は

一般質問

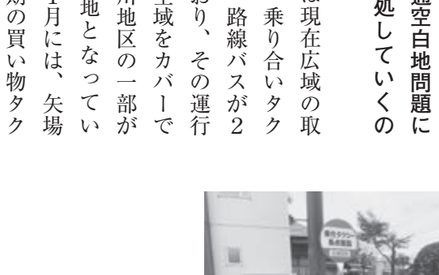
町長　年間平均収入が13万円程度と、年間維持管理費の２％

松浦　真

松浦　改正食品衛生法により、これまでと同じような加工所なしでの加工品（漬物など）の販売ができなくなる。町の対応は。また、設立10年を迎える朝市ふれあい館の活用状況および使用料の妥当性は。

町長　秋田中央保健所に相談したが、保存スペースおよび漬物などの臭気の問題で、朝市ふれあい館を食品加工施設としては活用できないと判断した。

　五城目朝市ふれあい館の使用料設定については、現状の利用状況から、使用料引き上げの検討以前に、使用率の向上を図っていく。当町において町有施設のソフト面に関する明確な指標を定めた計画はないのところ策定がない。過去10年の年間平均収入が13万円程度と、年間維持管理費の２％に満たない状況。



朝市ふれあい館を中心に利用者拡大を

中学生の進路指導改革を

松浦　個別最適化や探究学習が必要になる時代においては県外進学など、これまでの偏差値に応じた進路指導から抜本的に変わる必要があるのでは。町の考えやKPI※は。

教育長　中学校の進路指導においては、自分の自由意志と責任において選択できることが大切。そのため、高校のように難関校や国公立大に何人合格させるなどの具体的な数字を掲げての進路指導は行っていない。

　教育委員会としてはあくまでも児童生徒の能力適性、関心や将来の進路希望に基づき、自分の意思と責任で進路決定できるよう学校と連携し、生き方指導を充実させていく。

※KPI＝重要業績評価指標

地域住民が主体となった自家用有償旅客運送の構築は

松浦　町は免許返納で今後、更に広がる交通空白地問題にどのように対処していくのか。

町長　本町では現在広域の取り組みを含め、乗り合いタクシーが4路線、路線バスが2路線運行しており、その運行エリアは町内全域をカバーできてなく、馬川地区の一部が公共交通空白地となっている。令和2年1月には、矢場崎町内会が冬期の買い物タクシー事業として、タクシー車両や住民ボランティアの車両を使用した道路運送法に抵触しない移動サービスを始めている。

　現在策定中の次期公共交通計画では、事例調査や実証実験などの実施とともに、地域住民が公共交通について、理解を深め、話し合いの場作りに努める。

　有償無償に関わらず、地域の方々が自らそれぞれの事情に応じた住民主体の公共交通に取り組みやすい体制作りを検討していく。

交通空白地を減らす施策を

あなたにかわって聞きました

一般質問

米価の下落に手厚い農業者支援を

町長　国や県に対し、働きかける

椎名　志保

椎名　県南地区ではコロナ禍での農家の減収に対し、高騰が予想される来春の種苗時の肥料や農業資材購入への助成を目的に、10アール当たり1，500円～3，000円を補助する具体的な支援を行うとしている。

町でも手厚い支援を行うべきだ。

町長　JA、農業共済組合など、関係機関と連携し、国や県に積極的に働きかけていく。

椎名　農業委員会主催「農業者等との意見交換会」に農業者の方たちと共に参加し、圃場整備について県の担当者から説明を聞いた。各地区でも開催し、今後農地をどうしていくか、話し合いの場を持つべきだ。

町長　農地の集積・集約、水稲以外の高収益作物作付けや農業法人化などを進めるため、圃場整備を積極的に推進していく。地域の代表者の方々と連絡を密にし、話し合いの場を作っていく。

雀館公園周辺の総合的な整備を

雀館中心からは裏手となる遊具広場

椎名　雀館公園は、かつての面影はなく、日本庭園も風化が著しい。9月定例会決算特別委員会で視察し「思い切った予算措置をして整備し、たくさんの人が集う雀館公園を復活させて欲しい」と強く指摘した。来年度予算での計画は。

教育長　雀館公園がかつての賑わいを取り戻し、町民の憩いの場となるよう関係機関や町民の皆様の声を聴き、検討していく。

椎名　馬場目川沿いの遊具広場は雀館公園中心から見て裏手となり、わーくる始め他の施設との動線も不便だ。第3駐車場奥の芝生広場に遊具を移設するなど、雀館公園全体のグランドデザインを描き、広い視野での整備が必要だ。

教育長　週末には駐車場を利用するイベントが増え、自動車事故が考えられるなど遊具の移設は難しい。雀館公園周辺のビジョンを描き、五城目小学校一帯と合わせ、環境整備を検討することを考えている。

椎名　雀館公園周辺を町の文教エリアとして益々充実させ、再びたくさんの人々が集う雀館公園の復活を町民の皆さんは期待している。

子育て世帯に必要な支援を

椎名　病児・病後児保育の必要性が増している。近隣町村と連携し湖東厚生病院での設置を提言していたが、小児科医1名で対応は難しいとされてきた。社会福祉協議会が入るケアセンターの空き室を利用し、退職された看護師の方を登録していただき、必要が発生した際に対応するといった方法はどうか。

町長　平成30年度の意向調査で、病児・病後児保育を「できれば利用したい」が45・3％、「利用したいと思わない」が50・7％であった。実施するためには最低限保育室が2部屋と調理室の完備が必要で、医師との連携がすぐに取れることも求められており、ケアセンターでは厳しい。

空き地情報の発信を

椎名　空き家の解体で空き地も増えている。家を建てるために土地を必要としている若い世代や子育て世帯に土地のマッチングが出来ないか。

町のホームページ上で空き地の情報発信を行い、町外への転出を引き止める必要がある。

町長　固定資産税の納税通知書に空き地の利活用の意向を確認するチラシなどを同封し、需要の把握に努め、ウェブサイトへの掲載を検討する。

あなたにかわって聞きました

一般質問

米価下落に対する町独自の支援を

町長　所得向上に向けあらゆる支援策を探る

荒川　滋

収穫の喜びを味わえる農業であるために

荒川　稲作農家にとって米価の大幅下落は非常に深刻で、補助金・利子補給・需要開拓・国県への要望強化など町独自の支援が必要だ。

町長　大幅下落で農業経営は依然厳しさを増している。関係機関と連携し農家の所得向上に向けて、あらゆる支援策を探っていく。

持続可能な農業に

三平の家の雰囲気を「三平の部屋」として再現すべき

荒川　三平の家の展示物を杉沢交流センター友愛館に移すということだが、雰囲気を再現し「三平の部屋」として公開すべきだ。

惜しまれながら閉館した「三平の家」

町長　所有者のご厚意により寄贈を受けたパネルなどを友愛館に展示する。

荒川　展示だけでなく、雰囲気を残し、魅力ある観光資源とすることを強く要望する。

荒川　登山者が増えている森山二高地にバイオトイレ設置を。観光客をもてなす姿勢だ。

町長　秋田県水と緑の森づくり税での対応が可能か県と、場所・電源については関係機関と協議する。

荒川　二高地への車道。通信事業者との協議の現状は。

町長　11月5日に実施。賃借契約書に基づき大規模修繕は事業者、小規模な修繕は町が実施することを再確認。

荒川　この道を取り上げた2年前（№139・№140参照）から何も進んでいない。進める気はあるのか。半世紀以上中途半端な状態にピリオドを打つべきだ。

朝市出店者、調理場改修に補助を

荒川　食品衛生法の改正により漬物など加工食品製造は専用調理場の設置が必要となる。大きな負担で、朝市出店継続断念につながる恐れがある。改修費用の補助が必要だ。

町長　朝市出店者に限らず、対象者には事業所改修補助事業、農業夢プラン応援事業の補助金活用を周知する。

通学路安全確保の徹底を

荒川　小学校前横断歩道の東側に街灯、通学路主要交差点にガードレール設置を。

町長　新規に照明灯を設置する。交差点での痛ましい事故が各地で起きていることから、通学路パトロール調査を行い、必要に応じて車止めの設置を進める。

3回目のワクチン接種、受付の混乱防止策は

荒川　ワクチン接種の申請受付で初回は大混乱した。3回目に向けその防止策は。

町長　地区ごとに予約日を分けて電話とWEBで受け付ける。2回目の接種終了者が対象となりあらかじめ予約枠が確保されていることから、前回のような電話がつながりにくい混乱は緩和されると考える。

あなたにかわって聞きました

一般質問

概算金下落に伴う米生産者の支援策は

町長　支援策を模索し、検討している

佐々木仁茂

佐々木　コロナ禍の影響により、概算金が下落。米生産者は収入減で深刻な状況に置かれている。さらに生産資材などが高騰し、次期作への生産意欲を削ぐ現状となっている。

　この様な状況下で、東北の自治体の中には、主食用米の種子購入費の一部を助成する農家支援策を打ち出している。

　本町において次期作を支援し、生産意欲の維持・向上と地域農業の持続的発展につなげるためにも、町独自の支援策の考えはあるのか。

町長　町としては、できる限りの支援策を模索し、農家にとって農業への意欲向上、持続的に経営管理が図られるよう検討している。

佐々木　検討ではなく主食用米の種子購入費などの助成を行うべきだ。

農地の荒廃をどう防ぐ

佐々木　農業者の高齢化による農家戸数の減少で、増え続ける農地の荒廃をどう防ぐかは、農政の大きな課題だ。

　生産基盤として農地の機能を維持するためにも、持続的に農地を利用する多様な担い手の確保・育成と支援が必要である。

　農地荒廃がもたらす自然災害の誘発や鳥獣被害の拡大を防止するためにも、どのような対策を考えているのか。

町長　再生利用の困難な農地は、自治体の各農業委員会において非農地判断を徹底するとの方向が示されている。

希望のもてる農家支援を

　自然災害の原因となる障害物の確認調査や鳥獣被害の拡大防止のため、移動用電気柵の設置などあらゆる対策を実施していく。

行政の人命を守る責任の重さを問う

佐々木　千葉県八街市の通学路で起きた事故と静岡県熱海市で起きた大規模土石流による事故は、明らかに行政の対応のまずさが起因する事故で、人命軽視も甚だしい。この2件の事案について町長の認識を伺う。

町長　通学路に対しては、早急に処置が必要な箇所を割り出し処置している。土石流に関しては、完全に人災である。人災によって尊い命が奪われないよう、隅々まで目を配りオール行政で安全対策に取り組んでいく。

老朽橋と危険な護岸農道への対応は

佐々木　門前町内の馬場目川に架かる老朽化した橋は、現在危険な状態で、ロープ横一本での通行止めでは人身事故が起こる危険性がある。ここ数年間放置されている橋への対応はどうするのか。

　この橋を起点とし、馬場目字小才の農地へ通じる農道は、一部道幅の狭い危険な護岸道路となっている。この危険な護岸を農道として利用している農家の不安は計り知れない。町はこの現状を認識しているのか、早急に対応すべき。

町長　老朽化した橋に関して地元から要望があり、農林振興課関係土地改良事業で復旧できないか検討しているが、課題が多く現在詳細にわたり調査している。

　危険な護岸農道については指摘のとおり、大変危険な状況であり、早期に解消できるよう県と協議を進めていく。

安全が求められる橋と護岸農道

あなたにかわって聞きました

一般質問

デジタル化の流れに高齢者を取り残すな

町長　情報格差の解消は重要だ

畑澤　洋子
（公明党）

畑澤　行政のデジタル化が進めば、不慣れな高齢者に情報格差が生じる。誰もが行政の恩恵を受けれるよう、スマートフォン購入助成と町のスマホ教室の開催で、行政サービスから取り残さない高齢者支援を。

町長　デジタル技術を使いこなせる方と、そうでない方に生じる情報格差の解消は重要な課題だ。今年から令和5年度の3年間、県内25市町村で「高齢者向けスマートフォン操作体験会」を開催している。町でも11月、馬場目・大川地区公民館で計4回開催、19名が受講、この後2会場計4回開催の予定。高齢者のスマートフォン初購入者に助成する自治体独自の支援策なども出てきている。町の支援のあり方を検討する。

若年ほど効果があるワクチン

HPVワクチン積極的勧奨再開に向けて

畑澤　ワクチンの有効性は若年の接種ほど高くなるとデータが示している。厚労省はワクチン定期接種対応（勧告）「平成25年通知」を廃止した。町では令和2年から個別通知を再開している。接種者数は何人か。積極的勧奨を中止していた間に対象年齢から外れた世代に「若年ほど効果は高くなる」ことを考慮し国のキャッチアップ事業が決まるまで待つのではなく町独自に救済してはどうか。

町長　勧奨再開後の対象者のうち接種者は3人。接種機会を逃した方への対応は、国の方針が決まり次第、速やかに対象者へ周知する。

森林環境譲与税の使途は

畑澤　環境税は温室効果削減と災害防止を図るため、森林整備に必要な財源を安定的に確保する国税で令和6年から1人千円を納税するもの。既に町には平成31年より国から譲与されている。林業関係者からは、すぐにも路網整備などに活用してほしいとの声が届いている。環境税は納税者の理解と協力が必要だ。森林・景観・木育・温暖化対策について公開協議など開催してはどうか。

森林整備を進めよう

町長　町と秋田地域振興局、五城目森林組合の3者で構成された「五城目町森林経営管理協議会」を年数回開催している。12月2日第三回協議会で令和4年度の方針が決まった。内容はアンケート調査119人。林況調査55人。捨て切り間伐40ha。間伐材運搬補助、林道、作業道の補修に係る経費など予定。環境譲与税の使途は毎年9月定例会決算後に公開されている。今後もこの形式で実施していく。林道の路網整備と植林は、既存の補助事業で対応されている。皆伐は補助対象外になっている。

2回目接種後にコロナ陽性となるブレイクスルー感染に注意喚起を

畑澤　1・2回目のワクチン接種事業から見えた3回目接種に向けての課題はあるか。3回目接種の必要性の周知徹底を。

町長　初回の反省点から高齢者の電話予約枠を増やしスムーズに対応する。高齢者や基礎疾患のある方は重症化しやすいので、3回目接種の必要性をわかりやすく説明をし接種率の向上に努める。

第4回臨時会

令和3年10月20日

提出議案

❶令和3年度一般会計補正予算

・新型コロナウイルス感染症対策事業として、特に深刻な影響が続いている業種への支援をする。

宿泊業　50万円
飲食業　30万円
酒類小売業　30万円を支給。

諸経費を合わせた事業総額1，508万2千円。

財源は国からの地方創生臨時交付金1，040万2千円と自己財源である前年度繰越金468万円。

引き続きの感染対策を

第5回臨時会

令和3年11月22日

提出議案

❶一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定

・人事院勧告を受け、民間の支給割合との均衡を図るため職員の特別給を引き下げる。

12月支給の期末手当（ボーナス）
職員、特別職、議員　0・15ヶ月分減
再任用職員　0・1ヶ月分減

町長はじめ特別職、議員、町職員総額で**735万円減額。**

2年連続期末手当引き下げで735万円の減額

タブレット端末導入視察受け入れ

井川町議会改革検討委員会による先進地視察を受け入れて研修を実施した。

秋田県内で最も早くタブレットを導入した当議会には、県内外からの視察が多い。

●期　日　令和3年12月17日（金）
　　午後1時30分
●会　場　五城目町議会
●出席者
・井川町　7名
　議長
　議会改革検討委員　5名
　議会事務局長
・五城目町　7名
　議長
　議会タブレット専門チーム　2名
　議会事務局長　総務課職員　3名

タブレット導入の経緯と効果についての視察

議員派遣情報

コロナ禍により昨年度実施しなかった南秋田郡町村議会議員大会が、左記のとおり開催される。

地域の課題と情報を交換し相互交流を深め議会の活性化を目的に開催されてきた。

自治体単独ではなく、近隣自治体連携での取り組みが必要な事柄が増えてきている。情報提供と交換により議会だけではなく地域の活性化にもつなげることが求められている。

●期　日　令和4年1月21日（金）
　　午後2時
●会　場　井川町農村環境改善センター
●対象議員　全員

（荒川　滋）

シリーズ　ついせき　106

あれ　なんとなったべが！

令和2年12月定例会一般質問より

問　免許返納後の高齢者を支える、全町無料巡回バスの運行を。

1年前の答弁　来年策定する町地域公共交通計画で、住民アンケート調査、行政負担額シミュレーションで総合的に検討する。

現在　現在、今年度末の計画策定に向けて町地域公共交通協議会において調査・検討を進めているが、7月に実施した住民アンケート調査では、「町の負担を維持しながらサービスレベルの向上を図るべき」との回答が多く、今以上の行政負担は望まない声が多数であった。一方、運転免許返納後の移動手段について不安を抱く声があるほか、全国的に高齢運転者の交通事故発生件数が多いことから、自家用車利用から公共交通利用へのスムーズな切り替えを促すことができるよう、公共交通の運賃割引サービス導入などを検討している。

利用しやすい巡回バスの運行を

問　消防団員不足解消の為、町職員に団員として協力してもらうことは出来ないか。

1年前の答弁　団員確保のためPRなど入団促進を図っている。町職員の任意の入団については方法も含め検討する。

現在　団員の確保については、様々な方法で入団促進を図っているが、成果を得られない状況であることから、引き続き、町職員の任意の入団も含め、その方法を検討し入団促進を図っていく。

問　もりやまこども園の給食費を全額無料化に。

1年前の答弁　子育て世代の経済的負担の軽減に向けて、様々な角度から検討したい。

現在　町では、令和元年10月より県独自の施策「すこやか子育て支援事業　副食費助成」に上乗せして3歳以上の副食費（3号認定は保育料に含まれています。）について全額補助している。

また、令和3年度の新規事業として町単独で主食費についても全額補助を開始し、全額無料となっている。

問　GIGAスクール構想にともない具体的な目標は。

1年前の答弁　1日2～3時間以上PCの活用を目標とする。授業単元以外にも、キャリア教育や遠隔地との人的交流などにも活用を図っていく。

現在　現在の授業における学習用端末の使用状況は、学年により異なりますが0・6～1・4時間となっている。

小学校では総合学習で海外とのオンライン交流を実施、中学校は千代田区の中学校とオンラインによる交流を計画している。

タブレットのさらなる活用

（佐々木仁茂）

■発行　五城目町議会　■編集　議会広報編集委員会　■〒018－1792 秋田県南秋田郡五城目町西磯ノ目1丁目1－1　TEL018－852－5411　FAX852－5402　■印刷　㈱八郎潟印刷

よぐきてけだな

「大人も子供もこころとからだがほっと」

井上　紀子さん
（米沢町）

○いつ、どんなきっかけで五城目へ

6年前秋田市で、こころとからだの体質改善サロンをはじめました。一昨年8月末、月1回の出張の途中、帝釈寺の農道を通り、金色に色づき輝く稲穂を見て、ここに住みたいと想いが込み上げてきました。その1ヶ月後に朝市通りのお家を譲っていただく運びになり、昨年2月末に越してきました。

○五城目で生活していて感じること

朝市があり、徒歩圏内に、カフェ、食事処もたくさん。お酒も飲めます（笑）。少し足をのばせば海、山など美しい景色に出会えるので以前住んでいたところよりミニマムに快適に暮らしています。

○これからに向けて

こころのサプリ　まほうやは女性専用サロンでボディケアはおひとり、おひとりに寄り添いオーダーメイド施術です。レンタルスペースとしても、月3回イベント開催をしています。より楽しく、より健やかに出会いと人生の彩りを楽しむ場として大人も子供もこころとからだがほっとする場所となっていきたいです。

まほうやでほっとしませんか

（松浦　真）

がんばってます

支え合って大成功

五城目高校
五高祭実行委員長
伊藤　幸太さん

五高祭を開催するにあたり、全校生徒が楽しめる内容にすることを意識しながら準備をすすめてきました。感染防止の観点からできることが限られる中、何ができるのか、どんな内容が相応しいのかを役員で話し合ってきました。

そして、学習や部活動の展示、クラス制作に加えて『五高CM』という五城目高校の紹介動画制作を新たに企画しました。制作中から楽しみながら取り組んでいるクラスが多かったことが印象的で、完成した動画を見たときには各クラスのアイディアや工夫に大変驚かされました。クラスごとの制作の中で『五高CM』が最も時間と労力がかかりましたが結果的に素晴らしい作品ができ、とても嬉しく思います。

五高祭にむけて異なる学年同士がペアになり、積極的にコミュニケーションをとりながら準備をすることでお互いを信頼することの大切さに気づきました。

生徒一人一人が行事を支える役割を認識し、学校の盛り上げ役として今後も努力し、今回の五高祭の成功を来年度の各行事や学校生活に繋げてくれることを期待しています。

最高のダンスパフォーマンス

（工藤　途子）

編集後記

明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症に振り回された一年でした。2回のワクチン接種という一大事業に従事された方々には本当に頭の下がる思いです。まもなく行われる3回目に向け、万全の準備をお願いいたします。

議会広報誌は、皆さまに手に取っていただき議会を知っていただけるよう、研究・工夫して作成に取り組んできました。写真や表、余白を多用しているのはその表れです。今後も、7人の編集委員で紙面の充実に努めてまいりますので、一層のご愛読をお願いします。

今年こそ、平穏で良い年になることを心からお祈り申し上げます。

五城目町議会広報編集委員
委員長　荒川　滋
副委員長　工藤　政彦
委員　工藤　途子
松浦　真
椎名　志保
佐々木仁茂
畑澤　洋子

（荒川　滋　記）